

尋常性疣贅（いぼ）

液体窒素凍結療法を受けられた方へ

治療後の痛みは半日から2日くらいです。痛みの程度は、治療部位・いぼの大きさや形状・個々の状態などにより様々です。

治療部位を消毒したり覆ったりする必要はなく、通常通りの生活で構いません。入浴もプールもOKです。

2日目頃から、いぼよりも2まわりくらい大きな血豆できる事が多々あります。治療が強すぎた訳ではなくいぼを排除する反応が盛んなむしろ良い反応なので驚かないでください。見た目がグロテスクで痛そうに見えますが自然に潰（つぶ）れるまで潰さないようにして下さい、無理に潰すと逆にただれの痛みが加わったり細菌感染が生じ易くなるのでお勧めしません。その他心配な事があるようでしたら、電話では状況判断しかねますので診察にご来院ください。

治療効果は2週間以上かけて徐々に現れます。 次回来院の目安は今日から3週間前後です。

・ 他の治療法は？

- ① 魚の目ころりやスピール膏は、ウイルス性のいぼの治療薬ではなく、逆にウイルスを増やす可能性があります。
- ② CO2 レーザー治療は、再発率が高くお勧めできません。
- ③ 内服薬ヨクイニンは、決定的な治療力はないので服用しながら液体窒素凍結療法をおこなうと効果があがる可能性があるとお考えください。希望なら処方します。

・ どうしてできたの？人にうつるの？

幼稚園や小学生児が普通に手足にもっているもので、そのいぼに直接触れたり、いぼが触れたものを間接的に触る事で感染します。感染力はさほど強くないですが、見た目気づかない程の小さな傷からウイルスが侵入します。

例えばお風呂やプールの水を介してうつる事はないですが、いぼを持つ人が使ったタオルを共有すると感染したりします。

・ いつ頃治るのか？

3週間間隔の治療で1-2回で治る人もいれば、まじめに通っても2年くらいかかる人もいますのでかなり個人差が大きいです(治療を中断している期間は含みません)。一番治りが早いのは幼児のでき初めの小さい分で、一番治りが遅いのは大人の足底の大きな魚の目状の分です。発見直後の小さなうちに治療開始する事が一番良いかと思いません。

・ 治療後の痛みに対する対策はないの？

痛いには違いないです。ただその痛みは個々の様々な状況や個人の受け止め方によってかなりの差があります。例えば幼い子供が不意打ちでこの治療を受けるのと、大人がしっかりと調べきって納得した上で受ける治療とでは、その痛みの受け止め方にはかなりの差があるのは当たり前の事です。特に幼い子には痛みを共感してあげる事が大事だと思います。痛みなく治療できれば良いのですが現在は難しいです。

痛くて耐えられない方には、多少効果は落ちますが、慣れるまで一時的にあてる強さを弱くしたりもできますので治療前に申し出てください。

痛み止めの飲み薬は、あまり効果がない上に耐性の問題と胃腸障害やその他の副作用の問題があって、医師の立場上お勧めはできません。

命に関わる病気ではないので治療を中断する事も可能です。その場合、いぼが大きくなってからの治療や、大人になってから治療を開始すると、治療期間がより必要になる事を理解してからにしましょう。

皮膚科 中竹医院

院長 中竹伸佳

